重要　ホールド取扱説明書

◎ ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよく読んでご理解の上ご使用ください。
◎ この取扱説明書は、常時見ることのできる場所に保管してください。

１．取り扱い注意事項

① ホールドは、強い衝撃を受けたり電動ドライバー等で強く締めすぎたりした場合に割れることがあります。
② ホールドを取付ける際には、取り付け面とホールドの裏面が密着するようにしてください。取付面に歪みがあるために、ホールドと取り付け面の間に隙間がある状態で取付ボルトを絞めると、ホールドが回転したり、割れたりすることがあります。
④ ホールドを取り付けているボルトは、季節変化も含めた気温、湿度の変化や反復的な荷重などにより緩みます。使用前に緩みがないか点検し、緩みがあれば締め直してください。
⑤ 利用者が落下した時の為に、クライミングウォールの下部に衝撃吸収材（マット）を敷いてください。

⚠ 警告

・ ホールドはプラスチックが主原料であり、上記の注意を守らなかったり、強く蹴る、無理に引っ張るなど、極度の力がかかると割れることがあります。その結果としてホールド自体が落下したり、使用者が落下する危険があります。
・ また、ホールドが破損した場合に、落下するホールドなどに当たる危険を認識して使用してください。クライミングウォールの下にいる人は、必要なとき以外は危険範囲（クライマーの直下及びその周辺）に入らないでください。
・ クライミングを行なう前には、必ずホールドの緩みや損傷の有無、ホールドを取り付けているパネルや板材の状態などを確認し、必要であればボルトの締め直し等の安全点検を行ない、充分注意して使用してください。

２．ホールドの固定

① ホールドを取り付ける際には、取り付ける板材、パネルなどの強度などに問題がないことを必ず確認してください。
② ホールドの固定にはM10の、充分な長さのボルトを使用して下さい。またホールドにより皿ボルトとキャップボルトを使い分けて下さい。
③ 取り付けボルトの緩みなどが原因で起こるホールドの回転の防止の為に、
a） 回転防止用の木ねじ穴付きタイプのホールドは、必ず木ねじを併用してください。回転防止用の木ねじ穴の付近は取り付けボルト穴に比べて強度が弱いので、木ねじは強く締め付けすぎないでください。
b） 回転防止用の木ねじ穴のないホールドでも、回転防止のためにホールドの脇に木ねじを取り付けることを推奨します。
c） コンクリート壁面に取り付ける場合、ホールドの位置や方向を変更しないのであれば、ホールドの裏面の一部と取り付け面を接着剤で固定してください。ただし躯体材質によって問題が生じる場合がありますので、疑問ある場合はお問い合わせください。また、接着剤はボルトによる取り付けの補助的役割です。

３．定期メンテナンス

① 定期的にホールドの損傷及びホールドを取り付けている板材、パネルの強度などについての点検し、取り付けボルトの締め直しを行ってください。点検の間隔は、ホールドの取り付け状態や使用頻度、気候条件などによって異なってきますので使用者が適切な判断で行ってください。目安は3ヶ月に1回です。
② 年に1回程度、専門家による定期点検を行なうようにしてください。
③ ホールドは消耗品です。表面が摩耗して滑りやすくなると事故の原因となりますので、交換してください。

４．クライミングを行う人へ　ークライミングを行なう際の注意ー

① クライミングを始める前には、適度な準備運動（ストレッチ等）を必ず行なってください。これは、体を暖め可動範囲を拡げて傷害予防の効果をもたらします。
② 爪が伸びている状態で使用しないでください。爪をはがす危険があります。
③ クライミング中に、人が上下に重ならないようにして下さい。上で登っている人が落下したりした場合危険です。
④ ロープによる確保が必要な場合には、技術を習得している人、あるいは技術を習得している人の講習を受けている人以外は登らないでください。

※ クライミングは危険を伴うスポーツです。上記の諸事項を守っていても、時として最悪の結果を招くことがあります。行動の結果が予測できない人や、予測できても自分には受け入れられないと考える人、完全な安全を求める人は、クライミングを行うべきではありません。

ピラミッドジャパン株式会社
〒357－0062　埼玉県飯能市永田387－5
Tel　042－980－5650
Fax　042－971－6780